規　格	入　数
幅）25mm× 長さ）30M	30 巻
幅）25mm× 長さ）30Mミシン目）70mm	30 巻
幅）30mm× 長さ）30M	30 巻
幅）30mm× 長さ）30Mミシン目）70mm	30 巻

■取扱い上の注意

- 使用後は必ずケースに入れて保管して下さい。
- 温度が低い時（15℃以下）では、伸縮性が低くなります。又、雨水に濡れると粘着性が低下しますので、ご使用時の天候に気を付けて下さい。
- 保管時は、日光や光が当たらない場所でケースに入れたまま保管して下さい。

http://www.tsugiki.com

接木の方法、種類を Web 上で公開中です。
上記 URL をご確認下さい。

●従来のメデールと比較して、離形紙をはがす手間がなく使いやすくなりました。
●接木した後の、芽開作業の必要がありません。
自然劣化しますので取り除く手間も省け、台木へのくい込みがありません。

■製造元
株式会社アグリス
URL http://www.aglis.co.jp
福岡県八女市鵜池 477-1　TEL0943-30-1177

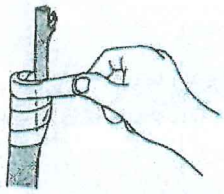
使用方法

〔一般的な切接法〕

①

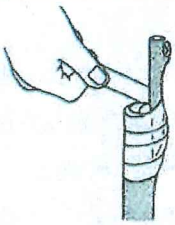
台木に穂木を差し込む。
<注>形成層がしっかり合う様にする。

②



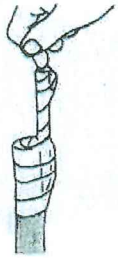
フィルムを伸ばしながらしっかり巻きつけて穂木を固定する。
<注>フィルムの約半分を使い最低4重位巻きつける。

③



フィルムの残りを伸ばしながら台木切口面を完全にシールして巻き上げていく。
<注>特に切口面にすき間がない様に、又、切角で破れない様に巻く。

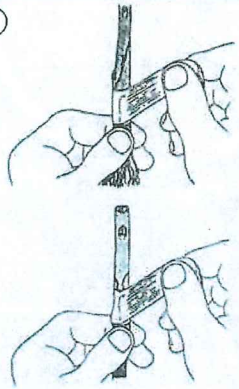
④



穂木の先端切口面まで伸ばしながら巻き上げて完全にシールする。フィルムは伸ばした形で止める。
<注>芽の部分はフィルムがなるべく重ならない様にする。

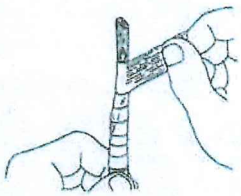
〔ぶどうや落葉果樹の切接法〕

①



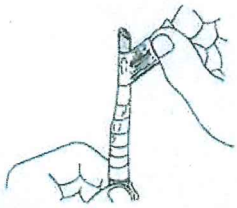
台木と穂木の接合部の最下端よりフィルムを伸ばしながら1周りさせオーバーラップをさせる。

②



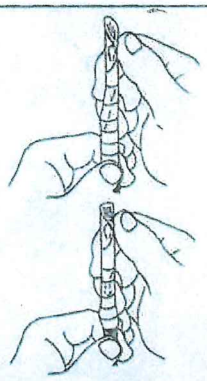
台木と穂木の接合部分は特に動かない様にフィルムをしっかり伸ばしながら5～6重に巻く。（台木を回転させながら、伸ばしたフィルムの間隔を開けすぎない様に巻く事）

③



台木と穂木の接合部が動かない様にしっかり巻いたら、残りのフィルムで芽の部分へ伸ばしながら軽く巻き上げる。（芽の部分は1～2重が良い。3重以上になると発芽が遅れる。）

④



穂木の上部切口面まで伸ばしながら巻き上げて、伸ばして押さえる。（全体をすきまがない様に完全にシールする事）

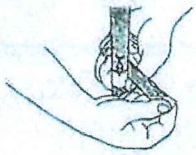
〔芽接法〕

①

(shield budding)　(chip budding)

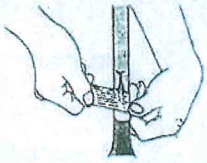
親指と人差し指でフィルムを持つ。片方はフィルムの端を持ち、もう一方は残りのフィルムを持って、図の様に伸ばし始める。
（穂木の下端にフィルムの上端がかかる位置位が良い）

②



長く持ったフィルムの方を伸ばしながら一周させ、フィルムどうしオーバーラップさせる。
（フィルムが粘着して動かなくなる）

③



穂木全体へ、左右の手を交互に使ってフィルムを伸ばしながら巻き上げる。（この時、間隔を開けすぎない様にする事）

④

芽の部分は2～3重になっても、フィルムを伸ばして巻いてあれば100％発芽してくる。（出来れば1～2重が良い。3重以上になると発芽が遅くなる。）

⑤

(shield budding)　(chip budding)

穂木の上端まで巻いたら、フィルムを伸ばして押さえれば良い。（フィルムは伸ばす事によって自己粘着するので外れる事はない。）

取扱い上の注意

※使用する時は、必ず保護ケースに入れたままでフィルム取り出し口より引き出しながら使って下さい。裸で使用するとブロッキングや性能劣化の原因になります。

※気温が低い時（15℃以下）では、伸長性が低くなります。又、雨水に濡れると自己粘着性が低下しますので、ご使用時の天候に気を付けて下さい。

※保管する場合は、室内の日陰でケースに入れたまま保管して下さい。（車のトランク等厳禁です）

接木固定用テープ

seevallS

―シーバルS―

- 接木固定用に開発された，塩ビテープです。
- 巻きつける引張り強さが，最適です。
- テープの切り取りが，簡単です。
- 延ばしながら強く巻きつければ密着性があるので結ぶ手間もなく作業効率が上がります。

使用法 台木に穂木を差し込み シーバルS で ①切口を被い ②台木に5～6回程強く巻きつけ、押さえながらシーバルSを切り取り穂木を固定する。③その上(台木切口面)から穂木にメデールを巻き上げる

※接木用メデールフィルム、カルースA(切口保護被覆用アルミフィルム）と一緒に使用されると一層効果があります。

規格	34㎜(巾)×80m(長)×0.05㎜(厚)　1巻 100巻入

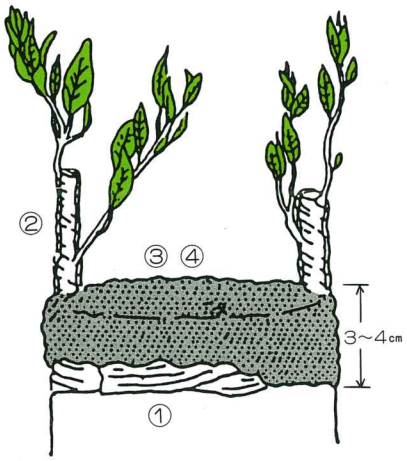
【製造元】
株式会社アグリス
〈本社〉
福岡県八女市大字鵜池477-1　TEL0943(30)1177　FAX0943(30)1178
〈東京支店〉
東京都千代田区内神田1-2-1MTKビル10F　TEL(03)3233-2077　FAX(03)3233-2079

樹木切口面、保護被覆用、アルミフィルム

CALOOSE A

―カルースA―

カルースAの使用法



① 「シーバル」で穂木を固定する。

② 台木の部分から「メデールフィルム」を延ばしながら、隙間の無いように穂木を覆う。

③ 切口を滑らかにし、癒合剤を塗って乾燥させる。

④ 「カルースA」を適当な大きさに切り上面より側面に向けてかぶせて行く。
※穂木を動かさない・隙間の無い様にピッタリ貼る
※側面まで十分にかぶせる事。

⑤ 接木用メデールフィルム、シーバルS（固定用テープ）と一緒に使用されると一層効果があります。

規格	50㎜(巾)×50m(長)1巻 24巻入	75㎜(巾)×30m(長)1巻 24巻入

【製造元】
株式会社アグリス
〈本社〉
福岡県八女市大字鵜池477-1　TEL0943(30)1177　FAX0943(30)1178
〈東京支店〉
東京都千代田区内神田1-2-1MTKビル10F　TEL(03)3233-2077　FAX(03)3233-2079